

## 精神医学

[講義] 第2学年 前期 必修 1単位

《担当者名》中川賀嗣 poverame@hoku-iryo-u.ac.jp

## 【概要】

精神医学の概念と歴史、精神障害全般の分類、診断法、各疾患カテゴリーの分類と基本症状、経過と治療について学ぶ。

## 【学修目標】

## 一般目標

1. 精神障害を分類できる。
2. 各障害についての概要を説明できる。
3. 各障害の違いを説明できる。

## 行動目標

1. 症状を記載できる。
2. 記載した症状について文献検索できる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	精神医学の歴史 精神医学の基礎となる知識  精神科患者への接し方	精神医学の歴史 精神医学の基礎となる知識  治療者－患者関係のとり方 治療契約と構造の重要性 インフォームドコンセントの実際	中川賀嗣
2	精神症状の評価法（とらえ方） 精神症状、状態像に関する概念、用語	精神症状の評価法（とらえ方） 精神症状、状態像に関する概念、用語	中川賀嗣
3	精神科に必要な、脳・神経症状の知識（大脳症状など）  疾患分類 症状性を含む器質性精神障害	精神科に必要な、脳・神経症状の知識（大脳症状など）  疾患分類 症状性を含む器質性精神障害	中川賀嗣
4	精神作用物質による精神と行動の異常  てんかん	精神作用物質による精神と行動の異常  てんかん	中川賀嗣
5	統合失調症  気分障害	統合失調症  気分障害	中川賀嗣
6	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害  生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	神経症性障害、ストレス関連障害および身体的表現性障害  摂食障害他 睡眠関連障害	中川賀嗣
7	成人のパーソナリティおよび行動障害 児童期の精神障害	成人のパーソナリティおよび行動障害  自閉症を中心とした児童期の精神障害	中川賀嗣
8	薬物療法  精神療法、電気けいれん療法 精神科救急など	薬物の種類 抗精神病薬、抗鬱薬、抗躁薬、気分安定薬、抗不安薬、睡眠薬、抗てんかん薬  精神療法、電気けいれん療法、精神科救急など	中川賀嗣

**【授業実施形態】**

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

期末試験100%

**【教科書】**

上島国利 他 編 「精神医学テキストー精神医学の理解と治療のために（改定第5版）」 南江堂 2023年

**【備考】**

講義は主に教科書を用いる。

**【学修の準備】**

精神障害について理解を深めるために、神経学的症状との違い、共通点を整理しながら予習すること(80分)。  
講義の内容を復習し、精神医学の講義全体について見渡し、相互の関係を理解すること(80分)。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

DP2 . 言語聴覚療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

**【実務経験】**

医師

**【実務経験を活かした教育内容】**

精神科医であることを活かし、精神医学の基礎、臨床について、自身の経験を交えて講義し、興味と理解を深める。

**【その他】**

この科目は主要授業科目に設定している